



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 298  
January  
2018

## トピックス

### 謹賀新年

センター長 濱田政則

### ADRC客員研究員 レポート

プロヒ・ナスールラー  
(パキスタン)

スリクワン・プンタティブ  
(タイ)

## Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
http://www.adrc.asia

© ADRC 2017

## 謹賀新年

あけましておめでとうございます。

旧年中、アジア防災センターの活動の進展のために寄せられたメンバー国、アドバイザー国、関連機関並びに関係者の方々の御支援に改めて感謝申し上げます。

さて、昨年も、多くの人命、膨大な財産を奪う自然災害が、世界的に頻発した1年でありました。アジア地域では、バングラデシュ、ネパール、インドにおける洪水や地滑り、イラン、イラクにおける地震並びにベトナム、フィリピンにおける台風など、多くの国々が自然災害に見舞われました。

アジア防災センターは、阪神・淡路大震災から3年後、1998年に兵庫県神戸市において設立され、本年で、設立から20年を迎えます。この間、アジア諸国においては防災の取組において目覚ましい進歩が見られました。一方で著しい経済成長、都市化が進展する中で新たな課題も現れてきています。20周年の機会に、次の20年を視野にアジア諸国の防災の主要な課題解決に貢献できるよう、ADRCの活動の柱について、加盟国の皆さんと議論を深めてまいる所存です。

また、加盟国の関心の高い気候変動や気象災害への対応、防災投資の強化のための開発行政との連携等も視野にいれ、災害による被害の軽減・災害対応力の向上を加速させるために、メンバー国、アドバイザー国、関係機関との連携をより一層深めていきたいと考えております。

本年も、アジア各国の人々の安全・安心の推進のため、職員一同取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

アジア防災センター センター長 濱田 政則



### ●ADRC客員研究員レポート

#### プロヒ・ナスールラー (パキスタン)

はじめまして。私はパキスタンから来ましたプロヒ・ナスールラーと申します。パキスタンの国家災害管理庁では課長補佐として働いています。私

## 続き

は、社会科学の分野と、政治学における国際連携に関する分野で修士号を取得しています。また、現在働いている国家災害管理庁においては、災害サイクルで示されている、予防、対策、緊急対応などのすべての局面において、関連する業務を経験しています。例えば、国家災害管理庁においては、防災に関する政策提言や、災害時の緊急支援、プロジェクトの実行などの業務を行っています。



次に、パキスタンについて紹介いたします。パキスタンは多くの海岸や砂漠地帯、平地、山岳地帯など様々な地理的特徴を有しています。これにより、多種多様な気候帯が国内に存在しています。自然災害の観点では、パキスタンでは地震、洪水、氷河湖決壊（GLOF）、地すべり、サイクロンなど多くの災害におけるリスクが存在し、防災という点では自然災害に対して最も脆弱な国の一つです。過去、悲劇的な災害であった2007年10月に発生したパキスタン地震は、国家防災条例2007の策定など、パキスタンの防災対策のメカニズムを見直す契機となりました。そして、私が所属する国家災害管理庁は国家防災行動2010を整備することになりました。

客員研究員としての研究テーマとしましては、パキスタンと日本における事例を参考とした、「パキスタンにおけるコミュニティ主体の早期警戒システム」について考察したいと考えています。日本はすでに防災対策における効果的なメカニズムを構築し、特に防災教育はパキスタンなどの災害多発国において有効なモデルとなっています。ADRCは同分野における経験があり、今回の私の研究を考察する上で大きな助けになると思います。

## スリクワン・プンタティブ (タイ)

私はタイから来ました、スリクワン・プンタティブと申します。タイは東南アジアの中央に位置し、国土は、森林、高地、低地、海岸線、諸島で構成されています。タイは、北東から吹くモンスーン（季節風）と南西から吹くモンスーンの影響を強く受けており、洪水、干ばつ、地すべり、台風などの多くの自然災害に見舞われてきました。

内務省防災局（DDPM）は、タイ国において防災分野の活動を実施する主たる政府機関として位置づけられています。私は、DDPMで計画・政策アナリストとして、防災に取り組んでいるボランティア組織とのネットワーク、協力体制の強化などを推進しています。



タイでは、「Safety Thailand」という政策を実施しております。建物の安全性を高くすることなどにより防災力を強化していくことや、地域コミュニティとグローバルコミュニティが協力して防災を進めていくことを推進しています。日本は防災における先進的な取り組みを行っており、民間セクターも災害リスクマネジメントに参画し、優れた安全文化が形成されています。

## 続き

ADRCのVR Programを通して、日本の防災の優良事例や安全文化を体験できることは、私の研究に役立つだけでなく、タイにおける防災文化の推進においても貢献できると確信しています。最後になりますが、このような機会を頂いたことにつきまして、タイ政府とADRCの皆様には感謝を申し上げます。

### **問い合わせ・配信申し込み**

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は  
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。